

■アート労務お客様インタビュー

— 特定非営利活動法人ケアホームいっぷく
理事長 松原一夫さんと 総務 水谷直美さん



特定非営利活動法人ケアホームいっぷく 理事長の松原一夫さんは、越前市白山で、介護付有料老人ホームの事業を行っています。自然環境に恵まれた土地で、家族的な温かいサービスをすることに定評があります。人手不足や職員教育などの課題と日々向き合っています。

アート労務に依頼をしようと考えたエピソードについて、総務の水谷直美さんも交えて、お話をうかがいました。

もくじ

1. 特定非営利活動法人ケアホームいっぷくについて
2. アート労務に依頼しようと思った時期
3. アート労務に依頼することを決めた理由
4. どのようにアート労務を活用しているか
5. アート労務の良いところ
6. アート労務に依頼をするか迷っている方へのアドバイス
7. アート労務への今後の期待

■特定非営利活動法人ケアホームいっぷくについて

ー 特定非営利活動法人ケアホームいっぷくさんについて教えてください。

松原理事長：越前市白山で有料老人ホームを中心とした介護サービス事業を行っています。職員は約 30 名です。アート労務さんには、労務顧問を依頼しています。



介護付有料老人ホーム しらやま山荘

■依頼しようと思った時期

— いつ、アート労務に依頼しようと思いましたか？

松原理事長：最初にお会いしたのは4年ぐらい前で、当社の関連会社からの紹介です。「橋本さんという優秀な人がいるよ」と後押しをされたのがきっかけです。

■依頼することを決めた理由

— なぜ、アート労務に依頼をしましたか？ 決め手になった理由を教えてください。

水谷さん：情報量が多い点ですね。当社としては、労務管理の仕方を一から見直したいと以前から考えていました。橋本さんのアドバイスを活用して、経営改善につなげたいと考えたからです。

松原理事長：橋本さんとお会いしたときに、アドバイスがとても的確で、親身に相談にのってもらえたので、この人なら依頼してもいいなと思いました。

■どのように活用しているか

— 依頼したあと、アート労務をどう活用していますか？

水谷さん：労務管理でわからないことがあるときは、すぐに橋本さんに相談をするようにしています。人事評価制度や社員研修、助成金の申請などもお願いしています。

松原理事長：人の扱い方とか、勤務時間とか、休暇の問題とか、給料の問題とか、非常に難しい問題が山積していますので、毎月テーマを決めて相談をしています。

いろいろとやりたい事業がある中で、法的な問題とか、人手不足とかの問題があり、問題をクリアするために、そのつどアドバイスを受けています。

■アート労務の良いところ

— アート労務（または橋本）の良いところはありますか？

水谷さん：こちらの投げかけた質問への回答が的確で、早いところでは。相談に応じて、親身になって、対応していただきます。

松原理事長：コンサルタントとしての姿勢です。我々のような素人にもわかりやすく指導していただけるのは、とてもありがたいです。それと、情報量が多いので、経営がずいぶん楽になりました。

水谷さん：橋本さんが講師をしている幹部研修を受講したときは、楽しみでしたね。当社から4名受講したのですが、受講後は、自分の気持ちがすごく前向きになりました。当社をどうにかしようという、前向きな考えを持った経験があります。

■依頼をするか迷っている方へのアドバイス

— アート労務に依頼するかどうか迷っている方へのアドバイスをお願いいたします。

松原理事長：当初は、井の中の蛙みたいな感じで、事業をしていましたけども、公的な行政の法律がありますから、社会保険労務士の知識と経験、アドバイスというのは、重要だと思います。

橋本先生は、とても頼りになりますから、即相談をしてみたらと思います。橋本先生みたいな若いフレッシュな方の提案はとてもありがたいです。

水谷さん：橋本さんなら、誠実で親身になって対応してくれると思います。実務上でも、効率の良い方法教えてくれます。助成金にしても社労士さんに依頼しないと申請は難しいと思います。

■今後の期待

— アート労務への今後の期待を聞かせてください。

松原理事長：働き方改革で、当社が参考になる事例を紹介してもらえるとありがたいですね。

同じ会社の職員なのだから、できない職員は、他の職員が助けてあげてほしい。でも、「あの人は何回言ってもダメなんですよ」と言う職員も中にはいます。協力体制を築く組織にするには、どうしたらよいか。それについてもアドバイスをいただけたらと思います。

また、これからは、外国人の労働者もある程度使っていかなざるを得ません。そうなった場合、外国人の労働者の扱いはどうしたらよいか。外国人の中には、問題を起こす人も出てくるかもしれません。

日本全体で職員を確保することが難しくなっているという現実の中で、我々のような人手のかかる業種の中小零細企業は、難しい問題が山積しています。引き続き、フレッシュな前向きな提案を期待しています。

水谷さん：どうしたら、職場のみんなのやる気が高まって、前向きな気持ちの職場にしていくにはどうしたらいいか。やる気がある人がいる一方で、「私は関係ない」みたいな職員も

中にはいます。

どうやったら、ケアホームいっぷくをみんなで盛り立ててやっていけるかについて、アドバイスをいただければと思います。

松原一夫様、水谷直美様お忙しい中、
ありがとうございました。

アート労務

電話番号：0778-43-5726

メール：artroumu@abelia.ocn.ne.jp

住所：〒916-0026 福井県鯖江市本町3丁目1-3 小谷ビル2階

営業時間：9：00～18：00

定休日：日曜日